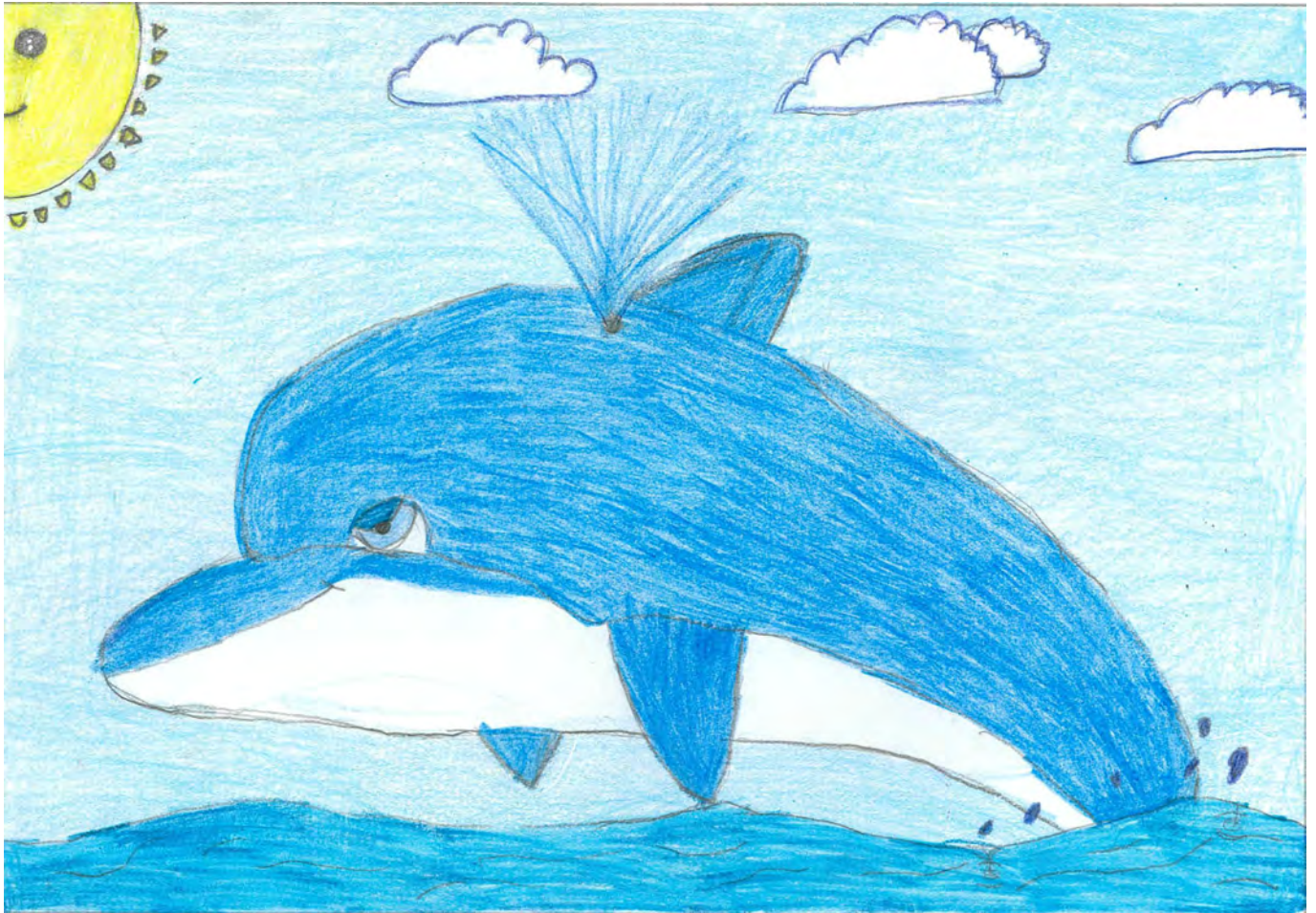


JCSだより

シドニー日本クラブ会報誌 Japan Club of Sydney Monthly Magazine 1・2 2019



2019年新年のご挨拶

シドニー総領事/JCS名誉会長 竹若敬三

JCS会長 水越有史郎

Matsuri Japan Festival 2018 盛況裏に開催！

クリーンアップ・オーストラリア 3月3日(日) レンコーフパークに集合

2019年東日本大震災復興支援イベントを3月11日(月)に開催

カウラ多文化祭が3月15・16・17日に開催

会費納入書同封

www.japanclubofsydney.org

東日本大震災復興支援映画上映会と東北郷土料理＆物産展開催

昨年シドニーで初上映され、感動の嵐を巻き起こしたドキュメンタリー映画「一陽来復(いちようらいふく) Life Goes On」と「MARCH」上映会。他、東北郷土弁当夕食会、東北ミニ物産展、最新被災地写真展、開催。

日時:2019年3月11日(月)16:00～21:00

会場:Sydney Mechanics' School of Arts

280 Pitt Street, Sydney) Town Hallから徒歩2分

チケット:<http://2019tohoku.eventbrite.com.au/>

★ 黙祷、物産展、写真展のみは、参加無料。

★ 映画どちらか1本のみ各\$10、東北郷土弁当のみ\$10、映画2本と東北郷土弁当のセット\$20

★ 映画は12歳以下無料。

★ 映画会場自由席(共に英語字幕付き)

★ 映画上映時間以外の途中入退出可

主催:JCSレインボープロジェクト(www.jcsrainbow.com)



お問い合わせ:sydneyrainbows@gmail.com

※イベント演目は予告なしに変更される場合があります。

※経費を除くイベント収益はJCSレインボープロジェクトに寄付されます。

クリーン・アップ・オーストラリア 3月3日(日) レーンコーブ・ナショナル・パークに集まろう!



今年のクリーン・アップ・オーストラリアは3月3日(日)です。この日は、オーストラリア全国一斉に公園や浜辺を清掃する日で、オーストラリア最大のボランティア活動です。公園や周辺のゴミを拾ってみませんか。年に一度のイベントは誰もが気軽に参加できます。この機会に是非会員の皆さんのご協力をお願いします。今回もシドニー日本人会の皆さんと一緒に参加することになりました。ゴミを拾った後に、BBQをしたり、お弁当持参でピクニックを楽しもうと思います。こぞってご参加ください。BBQは有料ですが、会が負担します。
日時:3月3日(日)9:30～11:30(BBQは11:30～予定)
場所:レーンコーブ・ナショナル・パーク(集合はLady

Game Driveゲートから10mほど入った場所)

用意するもの:手袋、帽子、日焼け止め、サングラス等

参加費:大人\$15、子供\$7(BBQに参加しない方は無料)

※通常、公園内は車の入場料が必要ですが、クリーン・アップ・オーストラリアに参加を申し込まれた方は無料駐車券をお渡しします。駐車スペースに限りがあるため、できるだけ乗り合わせてお越しください。

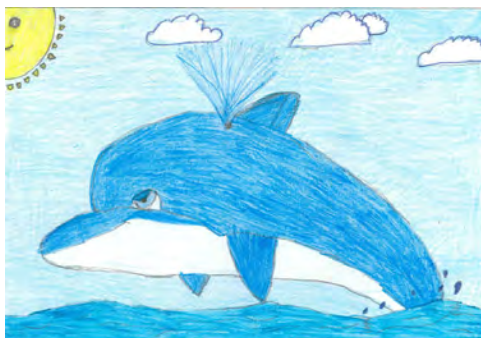
※参加される方は事前に事務局まで人数と駐車券の必要の有無をお知らせください。

尚、JCS以外の団体や、その他の地域で独自にクリーン・アップ・オーストラリアに参加される方は、サイトをご参照ください。 www.cleanup.com.au

2月2日(土) JCS日本語学校三校が新年度始業式(City校、Dandus校、Edgecliff校)

2月6日(木) 2019年度第1回理事会を開催(7pm@Dougherty Community Centre)

2月7日(木) 2019年度第1回教育支援委員会を開催(10am@North Ryde RSL Club)



■表紙の絵

タイトルは「青いいるか」です。
がっこうでかいてかわいかったから
もういちどかいてみました。

ロイ・ソウフィー(Y2)

エッジクリフ校なのはな組





2019年新年のご挨拶



シドニー日本クラブ名誉会長
在シドニー日本国総領事 竹若 敬三

新年あけましておめでとうございます。

昨年も、シドニー日本クラブ（JCS）の皆様には、大変御世話になり、心から御礼申し上げます。

おかげさまで、日本と豪州との関係は大きく発展しています。昨年11月には安倍総理が日本の総理として初めてダーウィンを訪問されました。この訪問では、戦後の日豪間の和解の速さが強調されるとともに、イクシスLNGプロジェクトの本格スタートが祝されました。昨年10月にはシドニーで第56回日豪経済合同委員会会議が開催され、日本から三村明夫委員長を始め232人ものビジネス関係者が来られ、西シドニー開発が大きく取り上げられました。西シドニーは豪州で第3の経済規模を有する地域であり、今後100万人単位での人口増加が見込まれています。シドニー首都圏の中で、パラマタ周辺と西シドニー空港周辺という二つの新たな都心を開発する構想に対して、日本側の関心も高まっています。

昨年は、JCS創立35周年を迎えました。記念行事として、1月のキャンベラ日帰りツアー、5月の星砂物語の上映会とCentennial ParkにおけるBBQパーティ、6月のパラマタでの祭り（パラマタで初開催）、8月の「一陽来復」の上映会などが行われました。12月8日に開催された恒例の「Matsuri Japan Festival」は、晴天に恵まれ、4万人以上の人が訪れました。日本の祭りは、当地の文化の一部としてすっかり定着しています。

JCSの活動は、祭りとともに、レインボー・プロジェクトやシドニーでの日系家族間の親睦を含め多岐にわたっています。JCS日本語学校は日本語学習と日本文化の継承に取り組んでおり、250名を超える児童、生徒が通っています。昨年、JCS日本語学校3校の永年の功績に対して総領事表彰を行いました。

総領事館としては、在留邦人の皆様に安全と安心を確保することを第一の役割としています。皆様からご意見をいただきながら、いつでもお気軽に相談できる総領事館でありたいと考えておりますので、ご支援をよろしくお願い申し上げます。当館の領事窓口は、皆様にご不便をおかけすることのないよう、混雑緩和に向け、引き続き取り組んで参ります。

本年も皆様の一層のご発展とご健勝を祈念して、新年のご挨拶とさせていただきます。



シドニー日本クラブ会長
水越有史郎

会員の皆様、新年あけましておめでとうございます。

2018年はシドニー日本クラブが創立して35年ということで35周年記念イベントをいくつも行いました。会員の皆様にはその都度、ボランティアでのご協力をお願いし、それぞれのイベントが大成功を収めました。これもひとえに会員の皆様のご支援によるものと感謝しています。

シドニー日本クラブは、日本から遠く離れたここシドニーで、日本人同士がお互いに協力し合い、親睦を深めて充実した生活を送ることを目的に設立されました。以来、今日ではオーストラリアも日本も、そして私たちの暮らしも、シドニーの日系コミュニティも大きく変化を遂げてきました。最近の日本人移住者を取り巻く社会環境の変化や、とりわけ移住されてくる方たちの生活意識が大きく変化しているのが現状です。

2019年は日本で現天皇の退位と新天皇の即位が、そして改元が行われる年でもあります。平成の30年間が終わり、新しい時代を迎えるという節目の年となります。会員の皆さんにおかれましても、それぞれ個人的な思いを新たにされるかと思いますが、新しい年を契機にシドニー日本クラブとしても新たな出発の年にしたいと思っています。

シドニー日本クラブはいまでもシドニー最大の日系コミュニティ団体として、また地元社会に根を下ろすエスニックコミュニティとして活動を展開しています。特に移住者の世代が二世、三世の時代を迎える中、高齢者向けの活動をはじめ、日本語学校を通じて継承日本語を子どもたちに伝えるなどして活動の継続性を推進しています。さらに東日本大震災復興支援活動などのチャリティー活動や、日本文化を広くオーストラリア人に向けて紹介する日本のお祭りを催しています。

シドニーに暮らす日本人として、一人ではなかなかできないことでも、仲間とともに力を合わせることで前に進むことが可能になります。これこそが私たちのクラブの存在意義ですし、このことを会員の皆さんと改めて確認し、これからも会員の皆様とともに活動を展開していきたいと思っています。

会員の皆さんも、ぜひ積極的に会に働きかけて頂き、アイデアを共有して新しい活動を展開し、ともに楽しい会を作り上げていきましょう。

2019年もどうぞよろしくお願い致します。

Matsuri Japan Festivalに4万人



2018年の日本の祭りが12月8日(土)、Darling HarbourのTumbalong Parkで催されました。暑いぐらいの晴天に恵まれて延べ4万人の観客が集まりました。かなりの暑さの中、みなさんステージパフォーマンスや食べ物屋台、出展ブースを楽しまれていました。

JCSのブースでは、恒例の浴衣の販売と金魚すくいのゲームを行いました。浴衣や着物、法被の販売は好調で大きな売り上げを上げることができました。金魚すくいは相変わらず大人気で、子どもはもちろん大人も楽しむ姿が見られました。また、お祭りにはJCSのクラブ活動であるJCS Hula Aloha Hawaiian Groupや、シドニーソーラン踊り隊がステージ出演を行ない、ほかにも会員の方が参加している盆踊りなど、JCS挙げて日本の祭りを盛り上げています。もちろんお祭りの後援のほか、祭り全体の運営にも役員を中心にボランティアでお手伝いをしています。また、盆踊りの櫓では渡部副会長が太鼓を叩き、観客も一緒に参加して盆踊りを楽しみました。



理事会から

日時:12月5日(水) 18時～21時 場所:Dougherty Community Centre, Chatswood
出席:八重樫領事、Chalker、水越、林、Costello、渡部、Joannes、Baker、Cooper
欠席:藤田、平野、多田、川上、松隈

1. 忘年会の報告

鱒屋の料理は大変豪華で良かった。

お昼に出やすい方にとって今回の時間帯はいい選択だった。収支はラッフルの売り上げや寄付等もあり黒字となった。お店の方たちの対応も素晴らしかった。

2. 日本語学校報告

●City校:10クラス、生徒数165名、124家族、休学2名

今学期末で退学する生徒は、14名(エッジクリフ校へ転校2名、キャメレイ校への転校2名、習い事3名、引越し4名、ご家庭の事情2名、その他1名)。来年の新・編入生は52名のため、クラスを2クラス増設し12クラスでスタートする。教員、アシスタントの確保ができ、クラス編成も完了。新教員のトレーニング、教員間の引き継ぎを行っておりスムーズに新学期を迎えられるように準備を着実に進めている。来年の委員・クラスサポート係も決まりすべて順調。来年の新・編入生には、胸元にご入学おめでとうと記載されているお花のりぼんをつけ、始業式に臨む。今学期最終日12月15日には、Y12の生徒の卒業式を行いその後、終業式を行う。

●Dundas校:10クラス、119名、83家族

今学期末で退学する生徒は17名。新年度に向けて資格を持った教員が不足の為、来年度は9クラス122人でのスタートとなる。クラス編成にあたり、新年度の入学希望者も多かったため、主に幼児部のクラス人数が多いが、常任アシスタント3人にそれぞれ入ってもらい、大がかりなクラス編成に合わせて、小学校低学年、高学年のクラスの名前を新しくした。現在は各クラスで今学期最終日に行われる校内発表会の準備や練習を頑張っている。

尚、バイカー江里さんは今学期で任期終了となり、副代表をクーパー幸子さんに引き継ぐ。

●Edgecliff校:4クラス、生徒数46名、36家族

新年度の入学希望者が少ないため、2019年度は幼児クラスを設けないことに決定。

新年度の先生が2名不足しており引き続き募集をしていくが、応募がなければ代講で対処する。

毎年のことだが、JCS関連のイベントが授業日と重なった場合、これまでは授業を優先にしてきた。ただし12月の祭りに関しては学校として参加しても良いのではという意見が先生から出た。保護者と生徒と一緒に祭り会場に出向き、ワークショップなどで日本文化を体験することも大事な授業内容としての取り組みになるのではないか。

3. 2019年カウラ多文化祭の進捗状況(八重樫領事)

先日(11月28日)総領事館で最初の会議が行われ、2019年3月16日に行われるパレードへの民族衣装を着

ての参加、獅子舞、櫓を作って盆踊り、折紙・書道・金魚すくい等の案が出てカウラ市に連絡したが、交通・宿泊費等も含め回答を待っている。パフォーマーたちは、直接カウラ市に連絡をすることになっている。

4. JCSウェブサイトの更新について

更に使いやすく、見やすくなったホームページに近々移転予定。それぞれのグループが新しい情報を入れるようにして、より多くの方に閲覧してもらえるようにしていきたい。

5. 祭りJapan Festival 12月8日(土)

当日の役員の役割、時間等につき最終確認を行った。

太鼓の修理についてシドニーにある太鼓の2グループに聞いたが、こちらで修理できる人はいないとのこと。(購入する場合、現在の1尺2寸サイズと同じもので30万円程。)使用できなくなったら借りることも考える。

6. その他

*来年の理事会の日程は、これまで同様、2月より第一水曜日午後7時～9時とする。

*「JCSだより」表紙の絵は先日行われた編集委員会で87点の応募作の中から選ばれた。当選者に連絡し、制作意図等を聞き、各号に顔写真とともに掲載する。

7. その他

○会員世帯数 325世帯(一般99、学校253世帯)

○次回理事会 2019年2月6日(水)午後7時～

JCS創立35周年記念エコバッグ

会員の皆さんに記念エコバッグを無料で配布しています。まだ受け取られていない方には、JCSの各種イベントにご参加の際にお渡ししています。

お持ちの方でもう一つ欲しい方や、お友達にもあげたいという方には、1個\$5で販売しています。



親睦の会 だより

- ・A地区 (North Sydney以南) 加藤真理 (Tel: 0405-235-365)
Email: marikato777@gmail.com
- ・B地区 (Chatswood以東) : 朝比奈富美子 (Tel: 9453-0058)
Email: fumikopixie@gmail.com
- ・C地区 (St.Ives以北) : 朝比奈富美子 (Tel: 9453-0058)
Email: fumikopixie@gmail.com

親睦の会役員

会長: 林さゆり、副会長・会計: リヒター幸子、幹事: 加藤真理、事務局: ピアス康子
ボランティア: 朝比奈富美子、カーター洋子、橋本克子、ファレル道子、村田智富子 (五十音順)

会員募集

シドニー日本クラブ会員の親睦と交流の集いです。和やかな雰囲気の中、和食弁当を食べながらの情報交換後には、様々な趣向を凝らした内容で楽しんでいます。JCSシドニー日本クラブの会員でしたら入会金は不要。年齢・性別・国籍は問いません。ビジターも大歓迎です。新しい輪を広げましょう。お気軽にご参加ください。

【2019年2月例会はお休みです。】

【2019年1月例会は新年会を開催しましたー！】

1月19日(土)、2019年度の新春を寿ぐ新年会を開催しました。林さゆり親睦の会会長による開会の辞と挨拶に始まり、日本とオーストラリアの国歌を斉唱、竹若敬三総領事代理八重樫好則領事からご祝辞を頂戴し、水越有史郎JCS会長に乾杯の音頭をとっていただきました。ワインなどを飲みながら、ラッキーマートを経営する会社の特注2段重ねおせち御膳で日本の正月を満喫しました。チーム対抗・輪投げゲームでは、子供に戻って大はしゃぎ！書き初めでは、各々が座右の銘などを毛筆に託しました。全員で日本の歌を歌ったり、ラッフル抽選では、親睦の会が用意した景品に加え、在シドニー日本国総領事館、水越会長、林さゆり会長、ゴルト良子さんから豪華な寄贈品をいただき、大いに盛り上がりました。賑やかなお祝いの会もリヒター幸子副会長の閉会の辞でお開きとなりました。



【お知らせ】

■古本市テーブルには、新たに多数のDVDを置きました。万が一映らない場合は、返金または違うDVDと交換します。

グプタ雅子さん、椎津さおりさん、長森昌子さん、向井津意子さん、ご不要になった古本やDVDのご寄贈ありがとうございます。販売収益金は、親睦の会の運営に有り難く使わせていただきます。



クラブライフ



2019年は2月1日に踊り初め！

シドニー最大の日本の祭り「Matsuri Japan Festival 2018」では踊り隊も元気いっぱい踊りました！(写真)そして最後は盆踊りを観客と一緒に踊って踊り納めとなりました。

今年は2月1日の「Sydney Lunar Festival」のイベントが踊り初めとなります。サーキュラー・キーのFirst Fleet Parkで午後7時30分から9時です。みなさん応援よろしくお願いします。

私たちの踊りが少しでも日豪文化交流に結びつくようにと元気に踊っています。一緒に踊りたい方、大歓迎！お気軽に練習にご参加ください。

Cammeray Public School (Palmer Street, Cammeray) 毎週土曜日2時～3時

参加ご希望の方は、Email: jcs.soran@gmail.comまでご連絡ください。

<http://sydneySORAN.wix.com/dancetroupe>



フラダンスを踊りませんか？

JCS Hula Aloha Hawaiian Groupは、シドニーにフラダンスの会として発足して6年になります。

体を動かす気持ちの良さを感じながら、明るく楽しく美しく、健康をモットーに和気あいあいと踊っています。(写真は2018年の祭りの舞台)

興味のある方は是非、見学にいらして下さい。年齢は問いません。

練習日：毎月第二火曜日午前11時～12時

場所：Dougherty Community Centre Annex, Chatswood

お問い合わせは真理まで(メール：hulaaloha2067@gmail.com)



春季ソフトボール大会で見事優勝！

JCSソフトボール部「シビックス」では、毎年、春と秋に催されるシドニー日本人会のソフトボール大会に出場しています。2018年は5月の秋季大会で3位となり、11月の春季大会では見事優勝を果たしました！(写真)

2019年の秋季大会(5月)も連覇目指して頑張ります。是非、応援してください。

「シビックス」では会員募集中です。一緒に優勝目指しませんか？家族で応援に来ませんか？

興味のある方は是非、ご連絡ください。

メール：ckato@nmpa.com.au または、電話：0402-011-198 (ソフトボール部部长 加藤雅彦)



将来のお薬をつくる協力をしませんか

医療ボランティア募集

費やしていただいた時間に対して謝礼金をお支払いします

シドニーにご滞在の皆様へ、医療の将来を大きく変える可能性を秘めた臨床試験をご紹介します。

臨床試験(治験)とは

国からお薬として承認を受けるために行う薬剤開発を目的とした臨床試験のことです。薬の有効性(効き目)や安全性(副作用)人種やライフスタイルによる薬学的差などについて調べ広く一般的に使えるようにすることを目的としています。大きく医療の将来を変える可能性を秘めており、医療ボランティアの参加は社会貢献度の高いものと言えます。

Scientia Clinical Research

私たちの研究とは・・・

私たちはシドニーのRandwickでUNSWをパートナーとし実際に健康な方や患者さんに薬の候補を使ってデータを集めています。試験は参加者の安全確保のため政府機関の厳しい法的規制の下に実施されています。Scientiaでは参加者の安全を第一に、専門のトレーニングを受けた医療者が24時間体制で対応しています。また通訳がいますので安心してコミュニケーションを図っていただけます。



参加特典

- ・ 新設のクリニックに滞在1日3食の食事つき
- ・ WiFi 完備
- ・ TVゲームあり充実のエンターテインメント設備
- ・ 他国籍の参加者と友だちになりやすい環境
- ・ 無料で健康診断が受けられる
- ・ 謝礼金がもらえる



募集要項

18歳以上の健康な方

※内服の有無や既往歴、喫煙に関しては研究により条件が異なります

参加の流れ

1.会員登録:電話問診

健康状態や病歴を伺い、ある程度の参加適性を判断します

2.説明会と健康診断

研究に関する詳しい説明をお伝えします。健康状態および参加適性確認のため検査を実施します(身長 体重、血圧、心電図、尿検査、血液検査、医師による診察等)

3.研究参加(数泊の入院と外来通院)

4.謝礼金のお受け取り

費やしていただいた時間や交通費など負担を軽減するため協力費としてお支払いしています。

お問い合わせ先

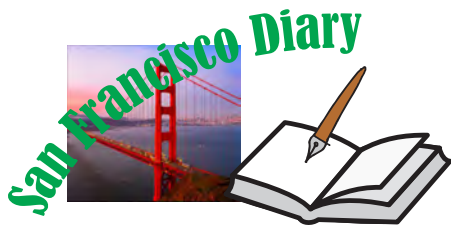
1800-727-123 (日本語)

Recruitment@scientiaclinicalresearch.com.au

ボランティアの申請

<http://www.scientiaclinicalresearch.com.au/japanese/>





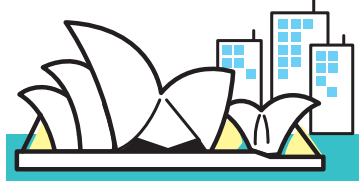
毎日が“旗日”

日本やオーストラリアから来た友人たちは一様に聞きます。今日は何かお祝いの日なの？わが家があるストリートと言わず色々な道の家の



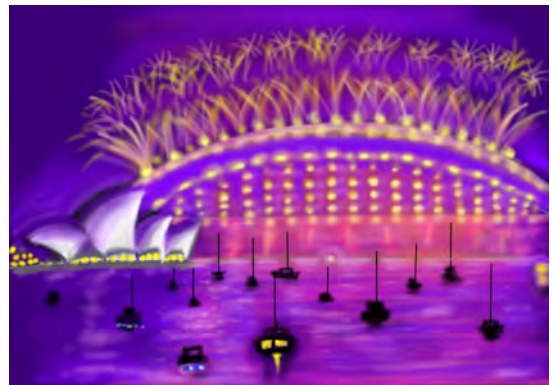
玄関や郵便受けに星条旗が立っています。同じように色々な建物にも星条旗が立っています。友人たちの「お祝いの日」というのはこの星条旗を指しています。実はこれサンフランシスコに限らず20年前に住んでいたボストンでも同じでした。アメリカは移民の国です。いろんな国からいろんな人たちがやってきます。その人達の子どもが幼稚園や学校に行くようになると両親の国である言語や文化をそのまま大事にし、なおかつ自分たちの新しい国アメリカをも同じように大事にし誇りを持ってほしいということから始まったそうです。

シドニースケッチ



大晦日の花火

2019年の到来を祝う、シドニーハーバーブリッジの花火をスケッチしました。塔門に照らし出された文字が「Happy New Year 2018!」である事に、皆さんが気づかれ、写真をソーシャルメディアに投稿しニュースになりましたね。新年早々、笑いを誘ったお茶目なシドニー！2019年が笑顔のたえない良い年でありますように。



お知らせ

MOSAIC日本語カルチャー教室

Willoughby Council運営のマルチカルチャーセンターMOSAIC(12 Brown Street, Chatswood)では、日本人のためのカルチャー教室が開かれています

(地域外の方でも参加できます)。

タイチー(太極拳)クラス

毎週水曜日2時半から、24式、48式を日本人講師から毎回20人程度の女性(平均年齢75歳?)が楽しんでいます。最近は男性も増えつつありますので、ぜひお気軽にご参加を！参加費はたったの2ドル、終わったあとは爽快な気分です。



百人一首のゲーム

奇数月の第三水曜日午前10時から12時まで、MOSAICセンターで百人一首を楽しんでいます。参加者の大半は初心者です、多くの新規参加者を募ります。

■申し込み先

MOSAIC日本ソーシャルグループ(Japanese Social Group)

担当: 榎本正弘

携帯: 0422-019-930

Email: fairgo6007@hotmail.com

盆踊りグループ(Japanese Folk Dance Group)

日本の伝統的な盆踊りの会です。スクールホリデー期間を除く毎週金曜10時~11時45分まで、上記MOSAICセンターでさまざまな曲目を練習し、さまざまなイベントに参加して披露しています。参加費は、School Term毎に\$20.50(60歳以上のシニアは\$15.50)です。見学も自由、新しい方の参加を歓迎いたします。

お申し込みは: ファレル道子まで。

携帯: 0401-363-006 Email: michikofarrell@gmail.com

MOSAIC センターでは、Japanese Social Groupの活動のほかにも各種英語教室や趣味の教室が開かれていますので、一度訪ねられたらいかがでしょうか？

JCS日本語学校シティ校 JCS Japanese School

学校 Ultimo Public School

(177 Wattle Streets, Glebe NSW 2037)

連絡先 PO Box 902, Glebe NSW 2037 電話:0452-141-618

授業 毎週土曜日／幼児部:9:30~12:10、小学部:9:30~12:15

Email student.city@jcs.org.au

Web http://cityschool.japanclubofsydney.org/



卒業式と新学期

新年おめでとうございます。2019年も子供たちの日本語と日本文化の継承の為に、全力で務めさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

昨年12月15日にはシティ校で3回目の卒業式が行われました。卒業を迎えたのは高取丈君です。丈君は運動会などの催事には強いリーダーシップで全校生徒をまとめ、下級生からは「大きいお兄さん」のような存在で慕われていました。高取丈君のように、多くの生徒たちが卒業の12年生まで頑張って日本語を勉強していただきたいですね。

さて、今年は2月2日土曜日から新学期が始まりました。新入生と編入生が加わり、合計201名12クラスです。また新たに6人の先生方を迎え、2019年シティ校のスタートです。ご家庭のサポートなくしては日本語は上達しません。担任の先生とのコミュニケーションをとり、生徒たちが楽しく日本語と日本文化を学べるようにサポートして行きましょう。



クラス紹介 アルパカ組

アルパカ組は、Y3-Y6の男の子8人、女の子13人で、21人のクラスです。前年のラッコ組からの持ちあがりなので、みんな、全員がとっても仲良しのクラスです。

前年のクラス発表会では、「ゲゲゲの鬼太郎」をモチーフとした、Hip Hopテイストのダンスを披露しました。みんなで協力して、一生懸命に毎週、少しずつ、練習を重ねてきた成果でした。男の子も女の子も、ダンスが得意な生徒が多いので、本当に格好良く出来あがりました！みんなが生き活きと踊る姿は、キラキラと輝いて見えました。とっても頑張りました！



2019年の今年は、教科書は2年生の下からスタートします。前年同様に、漢字はもちろんですが、ひらがな、カタカナ、文法、作文、読解、音読とまんべんなく、進んでいきたいと思っています。前年1年で、全員が毎週の宿題をきちんとやり、毎週の漢字テストや音読の勉強、詩の暗記、短文の作成など、様々な課題をコツコツとやることの意味を理解してくれて、全員の日本語能力は、ぐーんと伸びたと思います。それには、お父さん、お母さんの多大なるご協力とご指導があります。本当に感謝しています。

継承日本語には、7-9歳の壁という言葉があります。実際にこの真ただ中にいる生徒たちをどのように指導していったらいいのか？いつも考えます。習い事も忙しいし、現地校の勉強も忙しい、その中でどうやって、日本語を勉強していくモチベーションを保っていいのか？毎週、毎週、教案を立てるたびに考えていきます。ただ座って教科書を読み進めるだけではなく、ダンスをしたり、クラフトをしたり、日本語を使って、何かを習ったり、教えたり。特に習う方にとっては、案外と難しいことですが、その中で、新しい言葉も学び、語彙も増えていきます。

小説、本、漫画でも、テレビでも、スポーツでも、何でもいいので、日本語と関係のあることに興味を持って欲しいと思います。実際に、何人もの生徒が、日本の学校へ体験授業に行っており、ものすごい勢いで、日本語を吸収して帰ってきます。帰ってくるとみんなに色々な話を聞かせてくれます。それがとっても嬉しいことです。そして、彼らの自信にもつながり、授業中も、積極的に発言してくれたり、発表も堂々としてくれます。

これからも、生徒たちと一緒に楽しく授業を進め、日本語だけでなく、日本の文化はもちろん、礼儀や礼節を丁寧に教えていきたいと思っています。

(担任:山田朝子)

JCS日本語学校ダンドラス校 JCS Japanese School Dundas

学校 Dundas Public School
(85 Kissing Point Road, Dundas NSW 2117)
連絡先 電話:0411-734-819
授業 毎週土曜日/9:30~12:15
Email jcs-jpschdundas@live.com
Web <http://dundas.japanclubofsydney.org/index.html>



お楽しみ会

皆さまあけましておめでとうございます。長い夏休みも終わり新学期が始まりました。お休み中は家族で有意義な時間を過ごすことができましたでしょうか。

ダンドラス校では昨年12月15日に4学期最終日を迎え、終業式と校内発表会を行い1年間お世話になった先生がたと名残惜しみながらの終了となりました。当日はたくさんのご家族が生徒たちの晴れ舞台を見に来てくれました。お楽しみ会では先生方は生徒達のために素敵な出し物を考えてくださり、練習にも時間を割き、生徒達も一生懸命練習してきました。保護者の方々もお家での練習のお手伝い、映像の編集や衣装の準備など、みんな一丸となって作り上げているお楽しみ会でした。



2019年もダンドラス校では、色々な行事が目白押しです。生徒たちは毎週日本の文化に触れながら、日本語の勉強に励んでくれることだと思います。これも地域の皆様、JCSをサポートして下さっている方々、先生方、保護者の皆様のお蔭です。昨年同様、ご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

クラス紹介 大地組

2018年の大地組は、Y5からY8までの男子2名女子8名の、とても元気がよく明るいクラスです。国語教科書の3年上下を中心に日本語を勉強しています。漢字学習、読み取りのプリント、文法、季節の行事や日本の祝日などの文化の時間、隔週で行われるスピーチ発表などなど、毎週盛りだくさんで取り組んできました。2018年の始め、とくに今年は音読を頑張ろうと目標を決めて、生徒には音読カードを配布し家庭での音読に力を入れてきました。生徒によって忙しさは違いますので、宿題で出す音読以外は、自分のペースでいこうと言ってそれぞれの好きな読み物を好きなペースで読んでいてもらいました。教科書を読む生徒や日本で買ってきた本を読む生徒、家にある絵本を読む生徒、みんなそれぞれですが、日本語を目で見て、声に出して読むことには変わりありません。

ん。もちろん授業中も音読してもらいます。一年間経つと読む速さや語彙力が伸びてきているのが感じられました。そして、何より生徒たちのノートにたまった音読カードの数数数！それを見ると、これだけ読んだんだ！と自分が一年頑張ってきた事が目に見えて自信にもつながったようです。

そして、去年は大地組にとって初めての調理実習が行われました。3年生の教科書に出てくる「すがたをかえる大豆」という単元を勉強したのちに、じゃ実際に大豆から何ができるのか、やってみようと思い、時間や器具などを考え、実現出来るなものとして「豆腐」



に決定しました。調理実習の前の週に、生徒にレシピを説明し大豆を配布しました。生徒たちは金曜の夜に家で豆を水に浸してくる作業から取り組み、土曜日の朝持ってきてもらいました。大豆、大きくなった〜！と笑顔で見せてくれました。さっそく1時間目から調理が始まりました。あとは時間との戦いです。ミキサーで豆を粉碎して、鍋で煮て、それをこして、豆乳を作ります。生徒も保護者も鍋の熱さと外気の暑さで大変でしたが、美味しい豆腐が食べたい一心で頑張りました。豆乳を再度熱して、にがりを加えて待ちます。生徒たちはその間、漢字学習に取り組みます。豆腐が出来たら、試食タイムです。保護者の皆様の協力のもとなんとか作り終えることが出来ました。醤油や鰹節、ドレッシングとワカメでサラダ風にと、各自それぞれの味を楽しんでいました。

いつも何かあると直ぐに協力していただく保護者の皆さまに本当に感謝です。家庭での学習サポートはもちろんの事、クラス当番や学校当番、教室でのヘルプ、イベントへのボランティア協力と、忙しい中本当にありがとうございました。2019年も、生徒たち、保護者の皆さまにとって、実り多い年になりますようお願いしております。

(担任:山田紘子)

JCS日本語学校エッジクリフ校 JCS Japanese School Edgecliff

学校 Ascham School
(188 New South Head Road, Edgecliff NSW 2027)

連絡先 電話:0412-283-393

授業 毎週土曜日 / 14:00~16:35

Email jcs.edgecliff@gmail.com

Web <http://edgecliff.japanclubofsydney.org>



終業式とお楽しみ会

エッジクリフ校では昨年12月15日、2018年度最後の授業と、最終日ということで、終業式とお楽しみ会を行いました。1年間36週の授業が無事終了したのですが、特に2018年度に立ち上げた国際クラスのさくら組は、保護者と子どもが最後まで楽しく日本語を学んでくれました。

終業式ではまず全員で校歌を歌い、校長先生から年間皆勤賞の発表がありました。2018年度はなのはな組の阿部賢くんと、鶴野美咲ちゃんが表彰されました。美咲ちゃんは2年続けての受賞です。1年間一度も休まずに、36回の授業に参加してくれた賢くんと美咲ちゃん、2019年度も休まないでね！



皆勤賞の阿部賢くん(左)と、鶴野美咲ちゃん(右)



ミニスターズアワード受賞の土田真彩ちゃんは、先生と一緒に表彰状を見せてくれました



サンタからプレゼントをもらいました



「JCSだより」表紙の絵コンクールで入選した絵を手に、先生と一緒にロイ・ソウフィーちゃん(右)と、パーソンズ・ジャズミンちゃん(左)



また、ミニスターズアワードを受賞した土田真彩ちゃんと、今年の「JCSだより」の表紙の絵コンクールで選ばれたロイ・ソウフィーちゃんと、パーソンズ・ジャズミンちゃんも紹介しました。

お楽しみ会では、保護者の皆様に料理を一品持ち寄っていただいたほか、親子で浴衣や甚平を着てもらい、楽しい夏祭りの雰囲気の花を添えていただきました。また、保護者のお父さんがサンタクロースに扮して、絵本の読み聞かせやクリスマスプレゼントを渡してもらいました。子どもたちはスーパーボールすくいやスイカ割りを楽しんで、2018年度の日本語学校も無事終了しました。

2019年新年度は、先生が二人退職されたため、新しく二人の先生を迎えてスタートします。クラスは小学準備クラス、小学低学年クラス、小学中・高学年クラスと国際クラスの合計4クラスで、生徒数は41名、32世帯です。



サンタクロースによる絵本の読み聞かせに聞き入る子どもたち



終業式に臨む子どもたち



うまく割れたかな？

お知らせ

カウラ多文化祭が
3月15-17日に開催

3月15～17日に、カウラで「Cowra Festival」(カウラ多文化祭)が行われます。今年はカウラ捕虜収容所集団脱走事件から75周年となり、日本がゲストカントリーに選ばれました。日本クラブでは、日本人会と商工会議所との共催で、バスツアーを催行してこのお祭りに参加します。

期間中、ステージパフォーマンスやパレード、展示、飲食店など日本関連の催しが予定されていますが、日本クラブではバスツアー参加者と共にパレードに参加する予定です。参加ご希望の方は事務局までお問い合わせください。



昨年のゲスト国ネパールのパレードの様子

スポーツ天国
SPORTS

121

2019ラグビーW杯

あけましておめでとうございます。

さて、2019年に行われるワールドカップといえば…、そう、日本で開催されるラグビー(ユニオン)ですね。

夏季オリンピック、サッカーワールドカップに次ぐ世界三大スポーツ祭典と呼ばれているそうです。チケットの開催都市住民先行販売や世界同時販売も始まっているようですので、帰省がてらに観戦したい方、お

早めに。

このワールドカップのキャッチコピーというのが、「4年に一度じゃない。一生に一度だ」なのですが、豪州ですでに2回開催されています(1回はニュージーランドとの共催)。今年のワールドカップを見に行けば、すでに一生に三度目だ！(ぴか)



※会員の皆さんからの情報も受け付けています。

Eメールは、kenerit@gmail.comです。

よろしくお願いします。(ぴか)

日本再発見

日本の高速道路



年末年始と日本に行った際、今回は久しぶりに家族全員が揃って車で移動していました。

もちろん高速道路を使うわけですが、日本ではやはり途中に

あるサービスエリア(SA)などがとても整備されていて、ガソリンスタンド、ご当地のお土産や名産物売り場、レストラン、車中での飲み物やおやつ類を販売するお店等々がとても楽しみです。自動販売機も「スゴイ！」の一言です。そのうえ深夜を走るトラック運転手さんたちのためのホテルまでついているSAもありびっくりします！

こうした楽しみがある反面、高速道路を走る時はいつも最高速度を何キロくらいに保つのが良いのか考えさせられます。最高速度が80km/hという表示があるにも拘らず、制限速度を守っていると、40～50km/hオーバーのスピードで追い越していく車がほとんどであり、ノロノロ走っていると迷惑になっているのかな？と思うほどです。あまり現実的でない速度制限はどうか？と毎回帰るたびに思わされる次第です。

(日本でも走ろう会)



錦織圭選手

今年の年初から始まったブリスベン・オープン。2日早朝からブリスベンに飛んでその日からグランドパスを買って観戦。そこでラッキーなことに錦織圭選手の二回戦を最前列で見ることが

ができました。近くで見たらやっぱりすごい！早い！上手い！去年の前半は怪我から復帰したばかりで最初は辛そうでしたが、後半からどんどんテニスが良くなってきて、再び自信を持ってプレーできている様子。その後準々決勝と準決勝まで現地で観戦してきました。決勝戦はシドニーに戻ってテレビで見ましたが、何と2年以上ぶりに大会優勝を飾ることができた錦織選手。この久しぶりの優勝でまた自信をつけて、ぜひオーストラリアンオープンでもこれまで以上の活躍をしてもらいたいです。(さかな)



メラリと光る

あの人・この人

フェルナー静子さん

州教育省ESLスタッフ

今回は、フェルナー静子さんにインタビューです。NSW州教育省のIEC(Intensive English Centre)スタッフとして、オーストラリアに移住してくる子どもたちや保護者が現地の学校や社会に馴染むまで、通訳のサポートのみならず、カウンセリングやキャンプ、音楽指導など多岐に渡っての仕事をしています。(その活躍ぶりは本誌「JCSだより」に連載されている「翔けマイグランド」に掲載中。)

職場がノース地区で、唯一の日本人スタッフということもあり、移住や駐在で来られた方には、お世話になったよ！って方もたくさんいるかと思います。

その静子さん、教育現場以外でも、日本のお祭りやイベントでのバンド活動や歌、踊り、司会などに大活躍。また、ズンバのインストラクターとしてもいろんなところで指導されています。なんで、そんなに多彩なのか質問したところ…

3歳の時に母親の勧めで東京の劇団に入団。歌や踊りのレッスンを開始し、5歳の時に歌舞伎の子役としてスカウトされ、銀座の歌舞伎座に出演。その後、国立劇場や大阪、金沢、仙台への長期巡業を行いつつ、新派や新国劇とCM出演、それと日舞も行っていたということです。当然、学校に出席する時間がなく、お姉さんやスタッフの方が教えてくれたり、巡業先に教科書を持ち込んでひとりで勉強



していましたが、小学6年生の時に、みんなと一緒に学校に行きたい(普通の女の子に戻りたい!)と歌舞伎役者を辞め、大学卒業後に損保会社を経て証券会社に就職しました。

その後アメリカ人の旦那さんと結婚して渡米。駐在で4年ほど韓国滞在



人物紹介
第75回

後、2004年にシドニーに移住するまで、テレビのバラエティ番組に出演したり、国際フェアの商談通訳兼コンパニオン、バレーボールワールドカップチーム専属&審判通訳、広告代理店営業事務、予備校講師、モデル業…、その他、いろんな種類の仕事を経験。

現在は、本業のIEC以外でも、企業ネットワークの理事をやったり、ズンバの講師の資格を取ったり、日本人アマチュア音楽同好会JJBAでボーカルを担当したり、和太鼓を叩いたり、沖縄伝統芸能エイサーを踊ったりと、ここには書き切れないほどの多才ぶりを発揮中。3人のお子さんも独立し、お孫さんも生まれて、公私ともにまだまだ大忙しの毎日だそうです。





第11回

IECの移転問題

2年前よりこのコラムで「IEC (Intensive English Centre)」という学校について説明してきて、移民者のためのこの学校の仕組みと教育内容を読者のみなさまにご理解頂けたかと思います。ところが今、この学校が深刻な問題に直面しているのです。今回はこの問題についてお話ししたいと思います。



近年のチャッツウッド地区の児童数増加に伴い、NSW州教育省が学校の再開発を計画することになり、道路を挟んだチャッツウッド小学校とチャッツウッド高校が敷地と校舎を共有する教育施設を建築するという計画が進みだしました。それにより現在チャッツウッド高校敷地内にあるこのIECが立ち退きを強要されることになり、その移転先がKu-ring-gai High Schoolの敷地に置かれる予定になったのです。

ご存知のようにシドニーに毎日のように来豪する移民者の家族は、NSW州公立学校特別学級校のIECで、ローカル生徒と同等レベルになる英語力とオーストラリアの生活様式を学んでからメインストリーム(現地校の普通科)に移行していきます。そのIECはNSW州にある14校のうちチャッツウッド校のみがノースショアからセントラルコーストまでの学区域となっているのです。

チャッツウッドは移民者や多国籍文化に大変理解のある地区です。IEC がチャッツウッドに開設してから過去40年間、教育、医療、保安、諸事業などなどたくさんの理解と支援をいただけてきました。管轄のウィロビーカウンシルは学校の地域への参加を積極的に受け入れ、数々のイベントへの参加など共同体制を築いてきました。そのおかげで今までたくさんの移民者がオーストラリアでの新生活に容易に溶け込むことができました。

移転先のKu-ring-gai High Schoolというのは、Turrumurra駅から1時間に2本ほどしか運行していないバスで行くという所に位置しているため、電車やバスの遅れによってはかなりの時間を要することになります。チャッツウッドIECは広範囲の学区域のため、ノーザンビ

ーチなど居住地によっては片道2時間、つまり一日4時間通学時間を要することになるのです。車の手段の無い来豪したばかりのご家庭や、留学生、難民にとっては、かなりの負担を余儀なくされると考えられます。

IECは来豪されてまもない家族のための学校です。英語力を養成するだけでなくオーストラリアで生活していく上でのアドバイスや精神的ケア、保護者に対しても勉強会を開いたりと様々な形でサポートをしています。車を運転される家族は少なく、公共交通手段を利用される上で何かの事故や問題があった時にどう対処できるのでしょうか？学校時間内に具合が悪くなって早退をする場合、諸処の事情で保護者が来校しなければならない場合など、保護者の方が迎えに行くことにもかなりの負担が生じるでしょう。下に小さなお子さんがいらして地元のプリスクールや小学校に通わせている場合、送り迎えなどにもかなり影響してくると思われます。

日本人家族はほぼ100%チャッツウッドIECにやってきます。永住権を持っている家族や留学生も若干いるのですが、大半は駐在員家族です。直接IECから現地高校に入学する家族と、最初にテリーヒルズの日本人学校に入学してからIECに転校される家族といますが、いずれは日本に帰国されて日本の受験制度に戻られるというケースがほとんどです。その場合、帰国子女枠で受験されるための諸処の書類などもお手伝いしています。

このような家族をサポートする役職の日本人スタッフが唯一存在するのがチャッツウッドIECなのです。

また、チャッツウッド高校内に属しているということで、チャッツウッド高校に在籍されているご家庭に対しても同じようなサポートをしています。それを踏まえた上でご家族を連れて赴任される方が多いと思われます。また、チャッツウッドというのがノースショアの中心地で交通の便もいいことと、日本人学校のスクールバスも発着することもあるので、日本人学校の小学生のお子さんをお持ちの家族にとっては兄弟のピックアップも大変便利であると思われます。立地条件が悪くなることにより、サポートを必要とされるご家族にかなりの負担がかかるのでしょうか。家族を連れての来豪が難しくなるのではという懸念もあります。

言葉の壁やオーストラリアでの生活に慣れていない生徒、家族にとって、交通手段の便利な立地条件の場所にこそIECがあるべきだと思われ、今回決定を下した教育省に対して移転先の再考をお願いしたいとIECのスタッフ一同考えています。

みなさんのご理解とご協力、よろしくお願い申し上げます。
(shizuko_anj_0627@hotmail.co.jp)





NSW州立美術館(AGNSW)の2019年展覧会、催し企画が発表されています。またAGNSWが2011年以来進めてきた美術館拡張計画「シドニー・モダン・プロジェクト」の建設工事間もなく始まり、年明けから美術館内外の様子は活発になりそうです。今回は2019年の展覧会プログラムのなかからいくつかをご紹介します。

Coming Exhibition 2019

今年最初の特別展、「国立故宮博物院—台北 宝物 Heaven and earth in Chinese art」展が2月から始まりました。国立故宮博物院は世界でも最も優れた中国美術品を多く所蔵しており、その収蔵品が台北以外の地で見られることは稀です。今回はオーストラリア初の展覧会であり、開催地はAGNSWのみです。「Heaven and Earth in Chinese art」展は天、自然、人類間の融合「天地合一」という哲学的概念を通して、豊かな中国文化遺産を褒めたたえるものです。絵画、書画、青銅器、翡翠や木彫刻等80点以上が展覧されています。

中でも必見の名作は、国立故宮博物院の3至宝の一つと言われ、最も人気のある文物の一つ、その外見から単に「肉形石」として知られる作品、清朝時代に作られたとされます。素材は玉髓類の碧玉で、石が形成される過程にできた幾つもの層と色合いの縞模様を活かし、豚の角煮「東坡肉(トンポーロウ)」を模した彫刻です。肉の部分は自然原石のまま、上部の皮部分には無数の穴をあけて染色しタレがしみ込んで照りが出ている様子を表した自然と人工の絶妙な組み合わせが見事です。国立故宮博物院の収蔵品数は膨大で総点数は69万点にも及びます。歴代の皇帝やその高官達のために作られたこれらの文物は、皇帝の美意識や嗜好、それを作るアーティスト達の創作への熱望が表れ、また時代の社会背景などのユニークな話をも伝えてくれます。

今年のハイライトの一つ「The essential Duchamp」展は4月からです。1916年、第一次世界大戦を逃れたアーティスト達の間でチューリッヒで起こったダダイズムは、従来のあらゆる既存価値を否定する破壊的な活動です。デュシャンはダダイズムの代表作家で、20世紀に最



Qing dynasty 1644 - 1911
Meat-shaped stone
stone 6.6 x 7.9 x 6.6 cm
National Palace Museum



Marvin Lazarus Duchamp at Museum of Modern Art's Art of Assemblage Exhibition (Standing next to urinal and behind bicycle wheel) 1961
Gelatin silver print, Image: 8 5/8 x 6 3/4 inches



Image of the Sydney Modern Project as produced by Kazuyo Sejima + Ryue Nishizawa / SANAA
©Art Gallery of New South Wales, 2018

も影響力のあったアーティストの一人と言われます。デュシャンのアート、人生を語る本展は今迄にアジア太平洋地域で見られる最も広範囲なものです。デュシャンの代表作 Chocolate grinder No.2, Nude Descending a Staircase (No. 2) (1912)、泉1950(1917年オリジナルの複製)等125点、また、彼の60年に亘る経歴に関する記録などはフィラデルフィア美術館から展覧されています。2018年からの東京、ソウルでの展覧会を経てシドニーへ来るものです。

2018年10月以来開催中の「エルミタージュ展」は3月3日で終了します。

また、年間を通してオーストラリアのアーティストの展覧会も多く企画されています。Nonggirrja Marawili展(2月24日迄)、Brett Whitley展(3月31日迄)、Judy Watson展(3月17日迄)、Ben Quilty展(11月9日～2月2日)などもお見逃しなく。

美術館のウェブサイト www.artgallery.nsw.gov.au をご覧いただき、今年もぜひAGNSWをお楽しみください。(NSW州立美術館コミュニティーアンバサダー:森岡薫)

お知らせ: 日本語による館内ハイライトツアーは、2月8日から再開します。



Art Gallery of New South Wales

Art Gallery Road, The Domain 2000 Phone: (02) 9225-1700 www.artgallery.nsw.gov.au 毎日10am～5pm(水～10pm)
毎週金曜11時、無料日本語常設展/ハイライト・ツアーがあります。Email: communityambassadors@ag.nsw.gov.au (日本語可)
www.artgallery.nsw.gov.au/calendar/japanese-language-guided-tour/

アートレビュー

★5つ星評価

書籍



"It" (それ) と呼ばれた子 (幼年期)

著者: デイヴ・ペルザー (田栗美奈子=訳)

発行: 2002年 ソニー・マガジズ

★★★★★

アメリカ、カリフォルニア州史上最悪といわれた児童虐待を生き抜いた著者が、幼年期のトラウマを乗り越えて、自らつづった真実の記録。5人兄弟の次男として生まれたデイヴ・ペルザーは、実の母親から心身ともに深い傷を負わされる虐待を受けていた。地下室に住まわせられ、人間扱いされず「それ」・「あれ」と呼ばれ、食べ物も減多に与えられず、奴隷のように働かされて、暴力の嵐にさらされていた。最初はデイヴに同情的であった兄弟や父親さえも、母親に翻弄されるがまになってしまう。時に命の危険にさらされるような環境の中でも彼は必死に生き延びようとする。そのデイヴが小学校の教師たちの手によって救い出されるまでの幼少期の記録。想像を絶するすさまじい環境だ。この痛々しい状況の中で、ひそかに強靱な精神力を培っていくデイヴにひとすじの希望の光を見た気がする。幼年期だけでなく、少年期、青年期を併せて、三部作としてぜひ読んでほしい。

泣き虫しよったんの奇跡

監督: 豊田利晃

原作: 瀬川晶司

出演: 松田龍平、野田洋次郎、永山絢斗、染井将太他

★★★★☆

35歳のサラリーマンが将棋界の歴史を変えた奇跡の実話。2006年に発表された棋士・瀬川晶司五段の自伝的小説「泣き虫しよったんの奇跡」を映画化。将棋が強いと褒められたのをきっかけに晶司は小学生の頃から棋士の道を目指してきた。良きライバルや師匠を得て、着々と実力をつけ、プロ棋士の養成機関である奨励会に入会する。しかし「26歳までに四段に昇段できなければ退会」という規定のため、26歳で余儀なく退会する。夢を絶たれ、絶望に打ちひしがれる晶司だったが、一旦はサラリーマンになり平凡な暮らしを育んでいた。しかし将棋を愛する気持が強く、晶司は再び将棋にのめりこんでいく。次第にアマチュア強豪としてプロ公式戦にも参加するようになり、プロ棋士を相手に勝率7割を挙げるまでになった。多くの人々の支援を得て、日本将棋連盟を動かし、史上初めて規定に存在しないプロ編入を実現した実話を描く。

映画



音楽



How Can It Be

アーティスト: Lauren Daigle

★★★★☆

アメリカ・ルイジアナ出身のChristian music singer、Lauren DaigleはAmerican Idolでは最終ラウンドに行けなかったものの、ちょっとしたきっかけでプロの音楽界に進むこととなった。その歌声は力強く、そして深く美しい。一曲目のFirstから広がりを持つ世界が聴くものを惹きつけ、二曲目でファーストシングルのHow Can It Beにつながっていく。そもそもContemporary Christian Musicというのはキリスト教の考え方に基づいたFaithをHymnsやGospelではなくもっと現代的なスタイルで表現するもの。このアルバムはその世界観を持った美しい作品。



【第189回】『災』を転じて福に

日本に於いて1995年に始まり年末恒例となった、一年を象徴する「今年の漢字」選定で昨年度一位に選ばれたのが『災』。確かに200名を越す人が亡くなった『平成30年西日本豪雨』、夏を見舞った『災害級の猛暑』そして震度7の激震を記録した『北海道胆振地震』等々、オーストラリアに比べると圧倒的に多い「自然災害」の連続に、改めて考えるまでも無く『災』なる一年でした。ところで『災』が選ばれるのは今回が二度目で、6月から10月まで10の台風が上陸して大きな爪痕を残した2004年が最初でした。更に年初に『阪神・淡路大震災』発生した1995年度には「震」、夏の全国平均気温が観測史上最高を記録した2010年度が『暑』と、自然災害の記憶と直結する漢字が多く選ばれています。

『災』を招く第一の要因は、断るまでもなく油断。自然災害の発生が世界的に見ても少なく、その面で恵まれているオーストラリアに暮らしていても、備えを欠かさず注意報や警報への注意を払い、いざとなれば適切な避難行動を怠ることが出来ません。例えば『地球温暖化』との関連が指摘される夏の猛暑は、既にオーストラリアでも災害級まで達しています。昨年のクリスマス以降続いた猛暑傾向を見ても、今後シドニー地域で40度を越える日が連続したとしても不思議はありません。そうなれば高齢者を中心に、熱中症での死亡者が相当数出るのも自明の理

です。直ぐにでも十分な飲料水の確保、少なくとも一週間程度の食料の備蓄、その上で得忘れてならないのが空調設備の点検で、もし夜間や週末に故障したら正しく死活問題になります。これに関連して怖いのが、一般家庭では手に負えない広域に及ぶ大規模停電の発生です。『災』がここまで災厄化した場合、場当たりの避難そのものが無謀となるので決して無理をせず、無理をせず体力温存を計り救助を待つのが賢明。

『災』の多い地域が、オーストラリアを取り囲むようにして存在するので、そちらに出かける折には先ず防災意識を忘れずに。要注意地域として抜きん出るのが、共に繋がりの深いインドネシアとニュージーランド。しかも地震と火山災害の両面で、日本と共通した危険度も備えています。地震及び津波の規模や発生頻度は、前者が後者を大きく凌いでいるのでより警戒が必要。人的被害以上に空港や港湾施設等へのインフラ災害も多く、長期滞在を強いられる事態への対策も必須。

『災』の素因として意識から外せないのが地球外、即ち太陽系及び宇宙からの飛来物。太陽系内では、何と言っても太陽からの飛来物質が群を抜き、その分日常生活に直接的な影響を与えます。太陽の実体は、一言言えば巨大な水爆の坩堝。坩堝の中心に近い水素の核融合で発生するエネルギーで輝き、同時に電子や陽子そして中性子等の素粒子熱を絶えず放射しています。それらの一部が地球に届くことで生態系が維持され、極に近い地域では幻想的なオーロラが夜空を飾ります。ところが爆発的な活動が起こると状況が一変、押し寄せる多量の素粒子で旅客機内の乗客が被爆し、広範な通信システムの断絶する等深刻な災厄が発生。それにも増して怖いのが、はやぶさ1号及び2号の探査成功で身近になった小惑星の飛来。何せ相手は、地球環境を激変させ生態系の頂点に君臨した恐竜を絶滅させたのですから。

禍を転じて福と為すのも人の知恵、まず隙の無い備えから始めますか。

Travel Centre International

→→→ 格安航空券 取扱い中! →→→
※弊社では、別途発券手数料は頂いておりません。

弊社で“国際線航空券”をご購入頂いた方は、
海外旅行保険を20%割引致します!

→日帰りツアー/国内旅行
シドニーの他、ケアンズやメルボルンのツアーもあります。

→TCIオリジナルツアー
ブルーマウンテンや土ボタル、ハンターバレー、空港送迎等の専用車手配も承っております。

→海外旅行保険取扱い中

Suite 602 Level 6
309 Pitt Street Sydney NSW
Tel 02-9267-7751
Email: tc1.travel@bigpond.com
<http://www.tc1sydney.com/>

お気軽にお問合せ下さい!

DISCOUNT 日本食販売

JCS会員様 特別ご優待

お買物合計金額より5%割引!!!
必ずお会計の前にJCS会員の旨をお知らせ下さい。

今月のおすすめ商品

お供え餅 切餅入り干支 お供え餅 一体型(三方・お飾り付) 生切り餅 ひと切れ包装 煮豆 煮豆

ご来店の際、新規でのメルマガ登録のお客様には
もれなく10%offのパウチをプレゼント。

J-Top Trade Australia Pty., Ltd. Unit 3, 26 - 32 Kent Rd, Mascot NSW 2020
Ph: 02-9317-2500 / Fax: 02-9669-1988 Email: info@jtt.com.au
営業時間: 月~土 10AM-5PM 日祝休 *駐車スペースあり

試してみよう マクロビオティックの健康レシピ 食べ物を変えると、体も心も変わる

池田恵子 ● soramame

第95回 塩麴でブルスケッタ

まだ真夏日があったり、蒸し暑かったり、火を使う調理がしにくい日が続きますね♪

ブルスケッタは材料を切って混ぜてトッピングするだけなので、キッチンに立つのがおっくうな日でも作れます。

トマトとバジルをたっぷり使うので、見た目にも華やかな上に、旬の野菜を摂り入れることで暑気払いにもなる一品です。

【材料】4～6人分

ベース

ホールミールのパン 6枚

オリーブオイル(extra virgin) パンに塗る用

トッピング

チェリートマト 24個(1/4に切る)

紫タマネギ 1/2(みじん切り)

バジル 3、4本(みじん切り)

塩こうじ 大さじ1

オリーブオイル(extra virgin) 大さじ6

コショウ 少々

作り方

①ベースのパンはトーストして、片面にオリーブオイルを軽く塗る。



②ボウルにトッピングの材料を全て入れて混ぜ合せ、パンにのせる。

*塩麴がなければ塩(約大さじ1/2)で代用可。

マクロビオティックって？

マドンナやハリウッドスターたちが実践している食事法ということで有名になったマクロビオティック。実はこれ、大正時代に日本で発祥した「食養法」「正食法」のことです。

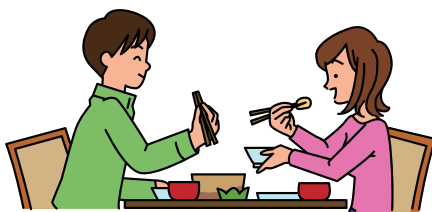
穀物を中心とした菜食をする、食物を丸ごと食べる、住んでる土地で採れたものを食べる、動物性の食を避ける、白い砂糖を避ける、そうしているうちに自然と心も体も健康になる。そんなシンプルで簡単な方法です。

気軽にできるマクロビオティックのヒントがいっぱい。

詳しくはウェブサイトをご覧ください。

→ www.soramame.com.au

外食日記



Chilli & Spicy Restaurant

住所: 653 George Street, Haymarket

電話: (02) 9281-0088

営業: 毎日11:30～22:00

予算: 40ドル

雰囲気 8

料理 8

サービス 9



今月はChinatownにある湖南料理のお店です。涼菜として拍黄瓜(たたき胡瓜: 胡瓜をにんにく、唐辛子等で和えたもの)、口水鶏(よだれ鶏: 蒸し鶏にピリ辛のソースをかけたもの)、火爆肥腸(写真: 豚のモツと野菜の炒めもの)、鶏肉とにんにくの芽炒め、小籠包を注文しました。たたき胡瓜は定番ですが、にんにくと唐辛子がしっかり

効いていて美味しかったです。ただ、細かな粉末の唐辛子が避けられずに常に辛かったです。よだれ鶏は、柔らかな鶏に辛いソースが良くマッチしていました。これだけでもボリュームがありました。豚のモツの炒め物は、プリプリしたモツを予想していましたが、縦に切った薄いモツでした。湖南料理は四川料理よりも辛いという情報がありますが、今回はそこまでの激辛ではありませんでした。一度試してみてもいいでしょうか。



仏教語からできた 日本語 その156

渡部重信
Email hbma@optusnet.com.au
浄土真宗本願寺派[西本願寺]
オーストラリア開教事務所長



須弥山(しゅみせん)

前回紹介した、金輪際に出てきました須弥山についてのお話です。

「須弥山と丈くらべ」という言葉があります。須弥山は非常に高い山で、比較にならないものを比べようとしているのを評してこのような表現を使います。「富士山と丈くらべ」と同じです。

ある時、豊臣秀吉の御前で、「大きな歌」の詠み比べが行われました。最初に一人の家臣が進み出て詠んだ歌は、「須弥山に腰うち掛けて眺むれば 雲の海原目の下にあり」

ところが、すぐに別の家臣が進み出て、次のような歌を詠んだ。

「須弥山に掛けたる人を手に取りて ぐっと呑めども喉にさはらず」

すると、最後に曾呂利新左衛門(そろりしんざえもん)が詠んだ。

「須弥山に掛けたる人を呑む人を 鼻毛の先で吹き飛ばしけり」

もちろん、後から詠んだ曾呂利新左衛門の方が有利に決まっているが、とにかく秀吉の寵臣の彼が勝ったので、めでたしめでたしであった。

さて、この須弥山ですが、これは古代インド人がこの世界の中心にそびえていると想像した伝説の山と言われています。大変高い山で、インドのサンスクリット語名を「スメール/シュメール」と言います。それを音訳したのが「須弥山」であり、現代の日本風に言うと「妙高山」とでもなりましょうか。とにかく想像を絶するほど高い山でした。

では、その高さはというと、仏典の記述によりますと、「八万由旬」とあります。一由旬は約10km(異説あり)ですので、その8万倍ということで、何と80万kmになります。それがどれくらいの高さであるかまったく見当がつかないくらいですが、例えば、地球から月までの距離が約39万kmですので、須弥山は地球と月を往復してもまだお釣りがくるような高さとなります。須弥山はそれほど高い山ですので、その頂上はもはや天界です。そこで古代インド人は、須弥山の頂上を忉利天(とうりてん)と呼び、ここに帝釈天という名の神が住んでいるとしたのです。須弥山の中腹が既に天界であり、この中腹の天界は下天と呼ばれ、この東西南北には、帝釈天配下の四人の武将である四天王、つまり持国天、増長天、広目天、多聞天(別名:毘沙門天)が住んでいるとしたのでした。

古代インド人の宇宙観は本当に壮大です。仏教はインドが発祥の宗教ですので、このような壮大な宇宙観を受け入れているのです。 合掌

法律Q&A 弁護士に 聞いてみよう 143

主任弁護士 林由紀夫(H & H Lawyers)

Racial Discriminationについて

Q:日本人であることを理由に、職場で上司から暴言・いやがらせを受けました。これは人種差別として、何か法的な対処はできるのでしょうか？

A:オーストラリアには、人種や性、心身の障害などを理由とした差別を禁止する法律が多く存在します。人種による差別を例にとりますと、例えばオーストラリア連邦全土に適用されるRacial Discrimination Act 1975(Cth)に加え、州レベルで適用される差別禁止法が存在し、NSW州においてはAnti-Discrimination Act 1977(NSW)がそれにあたります。

まず、法律上の“人種”とは大変広く定義された概念です。NSW州法においては、肌の色だけでなく国籍や民族性、宗教なども「人種」の定義に含まれるとされています。法律上「人種差別があったか否か」の判断には、「あなたに差別的な行動をとった者は、別人種であるAがあなたと同じ立場・状況に置かれた場合、Aとあなたと同じように扱うか」というのがポイントになります。つまり、今回の相談者の場合は「日本人であることを理由に暴言やいやがらせを受けた」とのことですので、例えばオーストラリア人の同僚があなたと同じ立場に置かれた場合、その同僚がこの上司から同じような暴言やいやがらせを受けるかどうかを考えます。もし、受けないと考えられるのであれば、人種差別があったと認められることになります。

職場で人種差別を受けた場合、3つの法的対処方法があります。一つは州の機関に訴えを起こすこと。NSW州の場合は、Anti-Discrimination Board of NSW(ADB)という機関が訴えを受け付けます。二つ目は連邦機関であるAustralian Human Rights Commission(AHRC)に訴えを出すことです。これらの機関に訴えを起こしてもすぐに裁判が始まるわけではありません。通常、それらの機関により、調停などの形で当事者らが話し合いを持つ機会が設けられます。この場で謝罪や賠償、職場で人種差別が二度と起こらないようにする規定の周知などについての交渉を行うわけです。この交渉が残念ながら失敗に終わってしまった場合は、裁判を起こすことになります。

人種差別が職場で発生した場合には、労働法上の訴えを起こすことも可能かも知れません。労働法上の訴えの場合は、その差別の内容や結果により、Fair Work Commissionへ訴えるか、または連邦裁判所への訴えとなるか変わってきます。職場での差別の結果、解雇されてしまうような事態の場合は、3週間以内にFair Work Commissionに訴えを起こす必要があります。

暮らしの医療

肝斑 (Melasma)

ドクター・鳥居 / Northbridge Family Clinic

俗にいうシミの一種で、主に顔に現れます。妊婦や避妊ピルを服用している人に多くおこることからホルモンの影響が大きいのではないか思われています。女性におこることがほとんどです。男性対女性の比率は1:9です。また、皮膚の色が黒めの人におこりやすいようです。

ほとんどは頬、額、顎、鼻の橋、鼻の下など、最も日の当たる部分におこりますが、頸や前腕部などにもおこることもあります。主な特徴として、灰茶色の左右対称におこる輪郭のはっきりとした皮膚疾患です。

発症年齢は30～40歳代が多く、症状がみられるのは50歳代後半位までです。60歳代以降から発症することはほとんどなく、むしろ薄くなったり消えていったりします。また、強い家族歴もあるかもしれません。

肝斑の鑑別診断

肝斑以外にシミ状の変化をおこす皮膚疾患はいくつかあります。

- *日光黒子(老人性色素斑):斑点状に現れたりまだら状に現れます。ほとんどは左右対称性はありません。
- *脂漏性角化症(seborrheic keratosis):表面から浮き出ている蟬様でうろこ状ですが、平らで浮き出ていることもあります。
- *悪性黒子(Lentigo maligna):対称的に現れず、輪郭が不規則で色が部分部分で薄かったり濃かったりします。
- *太田母斑(Naevi of Ota):通常は片側にだけおこり、色は青褐色で境界は不鮮明、辺縁は小さい点状の色素斑が並んでいます。もし、肉眼での診断が困難な場合は生検で確認しなければなりません。

肝斑の原因

原因ははっきりと解明されていませんが、女性ホルモンのバランスが影響していると思われています。妊娠したり、避妊ピルを服用したりすると肝斑がおこりやすくなることからやはりホルモンの影響によるものと推測されます。また、遺伝的要素もあるようで、親戚に肝斑の人が比較的多いという傾向があります。

照射日光が直接の原因と思われてはいませんが、もともと日光照射が多いとメラノサイトという表皮細胞が増え、メラニンという色素の生産が増加します。皮膚は絶えずターンオーバーして古い皮膚は細胞核のない角質に変化してはがれていきます。メラニンもその角質といっしょにはがれていきますが、照射日光が多く、メラニン

の生産が多すぎると角質と一緒にとはがれずに蓄積し、シミとなって現れます。

肝斑の治療

- *外出時には直射日光を避け、サンスクリーン(SPF30以上)をつけたり帽子をかぶったり長袖を着たりという注意が必要です。
- *Hydroquinone:美白外用剤で、クリーム、ジェル、ローションなどとして売られています。処方箋なしで購入できるものもありますが、濃度が高めなのは医師の処方が必要です。
- *Tretinoin、ステロイド:Hydroquinoneと混合で使われることもあります。
- *Azelaic acid:Hydroquinoneと同程度の効果があり、Hydroquinoneと比較して皮膚の赤み、皮膚炎などという副作用がすくないようです。
- *トラネキサム酸(Tranexamic acid):色素沈着抑制効果のある内服薬で、Hydroquinoneなどの局所用薬が効果がなかった場合、あるいは局所薬と混合で使われることもあります。
- *光線療法やレーザー治療は肝斑を悪化させる危険もあるのでこのような治療に詳しく、経験のある専門医でしか受けるべきではありません。局所用薬やトラネキサム酸などで効果がなかった場合の最終手段です。



今月の喜怒哀楽 〈哀〉

年が代わる年末年始は、何かとその一年を振り返ることが多く、そして、新しい年の初めに希望を抱くものですが、結局また能天気な酔っ払って花火を見て、正月三が日は寝正月と決め込んで(今年こそは…)と叶わぬ夢を見て過ごすのが毎年定番の行事と相成っております。それでも多少は自責の念が心の片隅に顔を出し、年末大掃除のつもりで断捨離を決意しても、結局、捨てようと思った品に(捨てちゃ嫌)と見つめられているようで諦めてしまう情けなくも可愛い私。年が明けての年頭所感、(あれも、これも、絶対やるんだもん)の決意だけのうわべだけ。これまでやったためしがないのだから仕様がありません。せめて平成が終わるのを節目と、様々なことを思うのですが、(そういえば2018年は西部邁の自殺で開けて、2019年は梅原猛の訃報で始まった)などと二人の著書のことが頭の中をぐるぐると…。年末に、年齢は私よりも上なのですが、義理の弟が亡くなりました。この方は非常に絵が上手で、ラファエロが大好きな人でした。よく聖母の絵を描いていましたが本当に忠実に再現していました。悔やまれるのはクラムスコイの「忘れえぬ女(ひと)」の絵について聞いておきたかった。(後悔先に立ってばかり)

編集後記

▼今日の新聞記事でAustralia has much to celebrateという内容を読みました。世界が大きく変化している中で27年間不景気を経験していない唯一の先進国であり、豊かな経済と環境を維持していることは驚くべきことであり、その理由として多文化主義、移民の多さ、政府の負債の少なさ、福祉の充実度、平均年収の高さ、色々と問題はあっても概ね政策に対して国民の同意が得られていることなどがあります。英誌「Economist」はこうした内容をカンガルーがジャンプする表紙とともに10月号で特集しました。世界でPopulismが台頭する中で僕は今のオーストラリアにいる幸運を改めて認識したいと思います。色々と問題や心配はありますが、皆様が素晴らしい新年を迎えられたことを願っています。



シドニー日本クラブ(JCS)は、オーストラリアに住む日本人および日系人家族の親睦を図り、オーストラリア社会の一員として日本文化の定着とその維持に努め、また他の諸民族の人たちとの相互理解の向上を図ります。

シドニー日本クラブ役員

名誉会長	竹若 敬三(在シドニー日本国総領事)
相談役	Chalker 和子
会長	水越 有史郎(教育支援委員会代表)
副会長	渡部 重信(事務局・編集委員会編集長)
副会長	平野 由紀子(JCSレインボープロジェクト代表)
理事	多田 将祐
理事	川上 正和
理事	Joannes えみ
専門理事	林 さゆり(親睦の会会長)
専門理事	Fraser 悦子(コミュニティーネット幹事)
専門理事	Costello 久恵(JCS日本語学校シティ校代表)
専門理事	松隈由紀子(JCS日本語学校ダングラス校代表)
専門理事	水越 有史郎(JCS日本語学校エッジクリフ校代表)(兼任)
事務局長	藤田 結花(会計・事務局長)
監事	会計監査(岩佐 いずみ/Richter 幸子)

クラブ代表 シドニーソーラン踊り隊(水越 有史郎)
JCSフラアロハ(Gault 良子)
ソフトボール部(加藤 雅彦)

編集委員会 編集長(渡部 重信)
編集委員(水越 有史郎/西牟田 佳奈/佐藤 薫/大塚 藤子
林 由紀夫/多田 将祐/マーン 薫/坂口 潤/斉藤 直子)

投稿原稿募集!

編集から

会員の方の生の声を募集しています。本誌を読んでの感想や、誌面に対する注文、会に対しての要望、日頃感じ

ていることなど、何でも構いません。皆さんからの率直なご意見や、誌面に対する感想などが、今後の誌面作りに多いに役立ちます。また、絵や写真、詩、俳句、短歌などでも構いません。お気軽にお寄せください。

原稿は、趣旨を変えない範囲で手を加える場合があります。文字数は最大1000文字です。投稿原稿は、誌面や内容、時期などの都合により掲載を見合わせる場合がありますので、ご了承ください。

告知板について

「告知板」は会員の方が「売ります」「買います」「教えます」など、個人の広告を掲載するコーナーです。会員の方なら、一回に限り無料で掲載できますので、ご利用下さい。

いずれも原稿は、以下宛に送ってください。

Email: editor@japanclubofsydney.org

本誌のカラー版は、電子版をダウンロードしてください。

www.japanclubofsydney.org

会員特典



JCS の会員の皆さんが受けられる特典です。
ぜひ、ご利用ください。

エーブルネット (携帯電話会社)

Suite 29, Level 17, 329 Pitt Street Sydney 2000
Phone: 02-9264-9601
Email: info3@able.net.au WEB: https://able.net.au
①【オーストラリア国内サービス】格安SIMプラン: 7GBで月額\$30、10GBで月額\$37。
②【日本向けサービス (日本帰国時に)】オーストラリアで受取り・返却&購入で日本到着後すぐネットが使える。
【日本向けポケットWiFi】2週間以上レンタルすれば、よりお得に！
【日本向けデータSIMカード】ご自身のアンロックされたスマートフォンにSIMを入れれば、日本でそのままネットが使える便利なサービス。
★詳しくは、WEBをご確認ください！

NBCA PTY LTD

Suite 41, Level 1, 45 Chandos Street, St Leonards 2065
Phone: (02) 8007-5363
担当: 人材 (加藤)、ビザ (山口)、留学 (山口)
Email: info@nbca.com.au www.nbca.com.au
ビザ申請及び人材紹介費用につきましては、JCS会員のみの通常の料金から10%の割引にさせていただきます。留学につきましては、JCS会員のみの通常料金から特別割引させていただきます。(学校によりこのサービスの対象にならないものもございます。)

甘利会計事務所

Amari Tax & Accounting
Suite 1003 Level 10, 84 Pitt Street, Sydney 2000
Phone: (02) 9223-7448
E-mail: info@taxjp.com.au
新規顧客に特典
JCS会員の皆様のタックス・リターンの申請・作成に当たり、料金から15ドルを割引いたします。お支払いの際にこのクーポンをご提示下さい。同時にお二人以上で申請される場合にも、1枚で全員に適用できます。

プラネットヘア (日本人美容室)

Level 2, 61 Market Street, Sydney 2000
Phone: (02) 9267-4881
JCS会員の方は平日15%Off、土日は10%Offになります。また、平日2時までに2人以上で来店の場合20%Off (カットは15%Off)。日本の器具、商品を使用していますので、安心して来店ください。特に白髪染めは植物100%のヘナを使用し、パーマは髪のコシがない方には十仁パーマをお勧めします。詳しくはwww.planethair.com.au/jp/を見てください。

ほんだらけ フル・オブ・ブックス

Level 2, 39 Liverpool St, Sydney 2000
Phone: 02-9261-5225 Email: hondarake@gmail.com
Website: http://fullofbooks.com.au
シドニー最大の日本古書籍買取・販売店。海外にいても手軽に日本の本・CDなど選べるうれしい店内在庫約8万点をご用意しています。買取も随時受付中。
このクーポンをご提示のJCS会員の方へ、本・CD・DVDのお買上を5%特別割引いたします。(※セール商品や化粧品など一部除きます。尚、クーポンは原本のみ。コピー不可とさせていただきます。)

Rumiko's Creation ROCOMI Beauty Circle

Mobile: 0402-178-519
お肌の大敵、乾燥や紫外線…みなさん、毎日のスキンケアはどうしていますか？
きれいで健康なお肌は、健やかな毎日の“ビタミン美”…和漢植物エキス配合の薬用化粧品をぜひお試しください。
店頭では手に入らない日本からの直輸入品です。
★JCS会員特典: 初回ご購入の際に、ご購入合計金額より5%割引。さらに洗顔時の必需品、ソープネットをプレゼント！お気軽にご連絡下さい。

JTTディスカウント 日本食販売

Phone: (02) 9317-2500
Fax: (02) 9669-1988
Email: info@jtt.com.au www.jtt.com.au
お申し込みの際に「JCS会員」と明記ください。会員の方は5%引きとさせていただきます。
メルマガを登録して頂いたお客様には、お得な情報を随時お送りいたします。ご来店の際にぜひご登録下さい。(※配送可能地区、曜日はホームページまたはお電話にてご確認ください。)

そらまめ

Email: classes@soramame.com.au
www.soramame.com.au
Mobile: 0402-961-907
そらまめは、マクロビオティックのクッキングクラスや個人の献立プラン、コンサルテーションも承ります。JCS会員の方には、クッキングクラスとコンサルテーションの費用から1名様\$10割引をいたしますので、お申込みの際にお知らせください。お申込み、お問合せはウェブサイト、またはEmailでお気軽に♪

JCSだより2019年1・2月号(1月25日発行 通巻第403号) 次号3月号は3月1日発行です

JCS事務局連絡先

本誌やJCSに関するお問い合わせは、Japan Club of Sydney Inc.
PO Box 1690, Chatswood NSW 2057 電話:0421-776-052 (9時～18時)
Email:jcs@japanclubofsydney.org (渡部重信) まで。

JCSだより原稿送付先

原稿は毎月15日迄に、渡部編集長(editor@japanclubofsydney.org)
または、JCS事務局宛にEmailか郵送にてお送りください。

入会案内

入会をご希望の方は入会申込書に必要事項を記入のうえ、入会金と年会費を添えて
JCS事務局までご返送ください。入会申込書はウェブサイトからダウンロードできます。

- ①入会申込書に、入会金 \$33 と年会費 \$70 (+ 発送費 \$10) の合計金額の小切手を添えて、事務局までご送付下さい。現金は受け付けておりません。海外会員・法人会員の場合は入会金なし、年会費 \$110 (GST 含む) のみです。
- ②入会金及び年会費の銀行振込は、以下の口座宛にお願いいたします。その際、必ず名前をお知らせください。
- ③住所・家族構成に変更があった場合は、会報送付の宛名用紙の「登録事項変更届」に記入のうえ、事務局までお送り下さい。または、メールにてお知らせください。(Email : jcs@japanclubofsydney.org)
- ④入会金・年会費は変更される場合があります。

If you want to join the JCS, please fill in the application form and send it with an appropriate cheque to: Japan Club of Sydney PO Box 1690, Chatswood NSW 2057. If you have any queries, please call on 0421-776-052.

- (1) Please fill out the form & send it to the address above with a cheque or money order for the joining fee \$33, the annual membership fee \$70 plus Postage \$10, total \$113 (inc.GST). DO NOT send cash. For overseas members or corporate members there is no joining fee but the annual membership fee is \$110.00 (inc.GST).
- (2) For EFT payment, please pay the bank transfer of joining fee and annual fee to the following bank account. In that case, please be sure to let us know your name.
- (3) Should there be any change in your address etc, please let us know without delay c/- the above address or email to us.
- (4) Please note that both the joining fee & the annual fee of the Club are subject to change without prior notice.

JCSだより広告案内

広告締切は毎月15日です。広告(そのまま掲載できるアートワーク)を、
PO Box 1690, Chatswood NSW 2057まで送付ください。

広告スペース	広告サイズ	料金 (1回のみ)	会員割引料金 (1回のみ)	会員割引料金 (6～11ヵ月)	会員割引料金 (12ヵ月以上)
1 ページ	横18cm×縦25.5cm	\$ 220.00	\$ 176.00	\$ 154.00 (月額)	\$ 132.00 (月額)
1 / 2 ページ	横18cm×縦12.5cm	\$ 132.00	\$ 99.00	\$ 88.00 (月額)	\$ 77.00 (月額)
1 / 3 ページ	横18cm×縦8.2cm	\$ 99.00	\$ 77.00	\$ 66.00 (月額)	\$ 55.00 (月額)
1 / 6 ページ	横8.7cm×縦8.2cm	\$ 55.00	\$ 44.00	\$ 38.50 (月額)	\$ 33.00 (月額)
折り込みチラシ	A 4 サイズ以内	\$ 440.00	\$ 330.00	※非会員の継続掲載にも、継続掲載割引があります。	

「JCSだより」では皆様からの広告を募集しています。本誌は会員に直接送付されますので、格安な料金で浸透力のある広告効果が得られます。お申し込みの際は、上記のサイズ・期間・料金を明記の上、掲載する完全な広告原稿(正しい広告サイズで、読みやすくはっきりと仕上がったアートワークまたはデータ)を、事務局宛に郵送もしくはメールでお送りください。銀行振込は以下の口座宛にお振り込みください。締切は毎月15日必着です。チラシの同封は、A4サイズ以内で印刷されたものを、部数分ご用意ください。※広告内容が本誌に相応しくないと判断した場合、掲載をお断りすることがあります。ご了承ください。

※JCSでは本誌掲載の広告内容に関しては一切責任を負いかねますので、その旨ご了承ください。

●入会金・会費・広告料金のお支払方法●

■会費納入届または広告原稿を小切手と共にJCS事務局まで郵送する場合

小切手の宛名は「Japan Club of Sydney Inc.」をお願いいたします。

郵送先: Japan Club of Sydney, PO BOX 1690, Chatswood, NSW, 2057

■会費納入届または広告原稿を郵送またはメールで送り、会費を銀行振込する場合

振込時に、登録会員名(フルネーム)と電話番号をDescription/Reference欄に必ず入力して下さい。

お名前がない場合は、支払い元不明で未払い扱いになるためご注意ください。

振込先 Account Name: Japan Club of Sydney Inc. BSB No: 032-002 Account No: 51-3156

www.japanclubofsydney.org